

# 神通から根来寺

【葛城第五経塚(倉谷山)】

深い山中にたたずむ経塚を訪ね、峠を越えて古刹・根来寺へ

葛城第五経塚は、人知れぬ山中にたたずんでおり、数ある経塚のなかでもひととき異彩を放っている。

神通バス停から西へ向かう道に入る。すぐに神通の集落に向かう橋を渡ると、集落入口に行所の浦上神社がある。行者が立ち寄り寄った証の碑伝も掛かっている。興味があれば立ち寄り。二瀬川沿いの道を延々歩くと、中畑の集落に入る。川沿いの道をそのまま進むと、やがて未舗装の林道となるが、なお進むと左手に碑伝がくられた杉の木がある。倉谷山の第五経塚は対岸の山上にあるが、経塚までは悪路なので、ここで選拝しよう。林道をさらに直進していくと「馬わかれ」に出る。ここで左に折れて、ゆるやかに坂道を登り、土仏峠を越えていく。「根来山げんきの森」のP地点に来たら、案内板で道を確認して山道に入り、散策路を經由して管理棟を目指す。

親子連れでにぎわう管理棟まで来たら、園内地図でもう一度確認して西展望広場まで行き、根来寺へと下っていく。やがて境内地に入ると、根来寺の鐘に下り着く。不動堂を経て、根来寺の中心部に向かう。根来寺は、平安時代末に葛城の山岳信仰を行っていた豊福寺に、覚鑿上人が明円寺を造ったことに由来する古刹。戦国時代には大勢力となり、豊臣秀吉の紀州攻めで、一時期は壊滅状態となったことはよく知られている。行者堂は、境内の西の方、聖天池の畔にたたずんでいる。

帰りは駐車場前に根来寺バス停はあるが、500m西のねごろ歴史の丘バス停まで歩けば、道の駅の物販や飲食施設が利用できる。

歩行距離 ◆ 約14km  
歩行時間 ◆ 3時間5分

体力レベル ★★★★★  
登山レベル ★★★★★



## コース情報



まずは神通集落にある浦上神社に参ろう



根来山げんきの森の東展望広場から見る紀州富士の龍門山

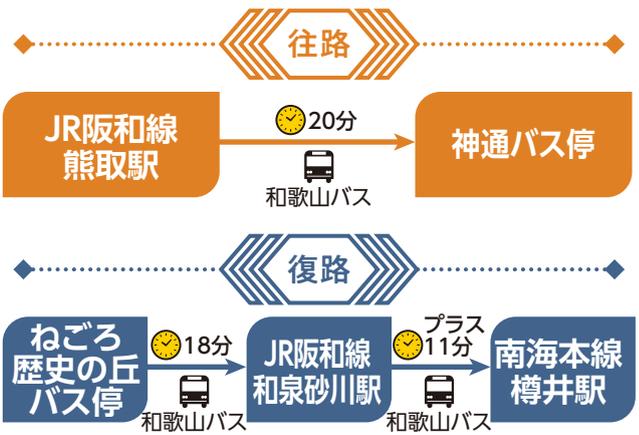


土仏峠を越えて根来山げんきの森P地点を目指す



西展望広場から根来寺へと下り着く。境内は広い

## アクセス



## アドバイス

本コースは道路歩きも長いですが、根来山げんきの森に入ると山道も多いので、トレッキングシューズが望ましい。また、根来山げんきの森は散策路が複雑に入り組む。まずは管理棟を目指すことを念頭に置こう。根来寺バス停または、ねごろ歴史の丘バス停からのバス便は便数が少ないので、事前に確認をしておこう。

※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。

※実際の修行の道とは異なります。